

クラス	313	担当教員	篠原眞紀子
テーマ	音・音楽の多様性を受け入れる社会を目指して 環境～人～教育～福祉～社会～		
著書・論文 研究課題等	<p>論文：2023「小学校音楽科鑑賞領域における日本伝統芸能の鑑賞形態の有効性——学校教育専修学生の常磐津節の受けとめから見えてくるもの」『教職課程研究論集』(23),33-56頁.(単著)</p> <p>2023「小学校音楽科「音楽づくり」に向けたサウンド・エデュケーションの試み——教師を目指す学生を対象に——『日本福祉大学子ども発達学論集』(15),25-40頁.(単著)</p> <p>2022「小学校音楽科における日本伝統音楽のカリキュラム構想——自国文化への感性を培う教育のスタートラインとして」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』35(3),175-196頁.(単著)</p> <p>「初等教育におけるインクルーシブ教育に向けて——歌唱共通教材の分析と授業構想による提言」『関西楽理研究』第35号,2020年,63-84.</p> <p>著書：『人と成ること——恵那地方の地域生活運動』2021年,晃洋書房.</p> <p>共著出版：『3コードでOK.なるほどかんたん!リズム曲集——保育・教育現場で楽しく弾けてすぐに役立つ』2015年,サーベル社.</p> <p>演奏：2023年10月8日「音楽のミクロコスモス」三味線・ピアノ障害のある人と協働ジョイントコンサート</p> <p>研究課題：音・音楽,音楽教育,演奏～音楽教育実践～理論の融合</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：文化としての音楽 インクルーシブな音楽教育			
<p>【目的】音・音楽を中心に,みなさんの研究テーマに沿って,環境,教育,福祉,社会を関連づけ考えます。</p> <p>【方法とその内容】音・音楽と人の中には,アクションして音楽を作り出していくような部分と,音楽を受けとめていく側面があります。このゼミでは固定的な音楽の在り方に偏らず,ジャンルも問わず,音・音楽について,あなたが取り上げてみたいジャンルの音・音楽を大切にしながら,多様な文化を受容し,音楽を創造することについて一緒に考えていきます。</p> <p>【授業計画】</p> <p>3 年次 演奏会/実践/フィールドワークをみんなで経験していきます。○実践やフィールドワークについて,実際に音楽のイベントや音楽教育プログラムを企画して,その中から研究課題を見つけ出していきます。・音楽を演奏したり実践してみたい希望者には実技力の習得をサポート・音楽の授業づくりのサポート・音楽作品や音の録音などによる作品づくりのサポート・障害のある人への音楽での援助方法についての協働学習○希望者には共同学習を行います。(例:地域のみなさんと音楽の学習会実施。現在,コロナ禍で子ども間で伝承していた祭礼囃子の伝承が途絶えかけています。地域の方々と子どもの民俗音楽伝承学習の復活活動を行っています。美浜町各地区に伝承される音楽の書き留め,教材化,伝承学習会など。)</p> <p>4 年次 卒業研究を中心に行います。音楽作品が制作したい人は作品作りを後押しします。実践研究したい人は実践の検討と研究指導を行います。理論研究したい人は文献を読解して論文執筆の指導を行います。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>いろいろな考え方や生き方が尊重される循環型社会モデルについて,音や音楽を感じながら,感じ直してみませんか。</p> <p>ゼミでは,音・音楽を中心に,発見や探求の楽しさ・感動を体験できることから社会を見つめる研究をします。また,音楽を通して他者を思いをはせる感覚も培っていきたいです。</p> <p>音・音楽に興味のある人!ウエルカム!</p>			